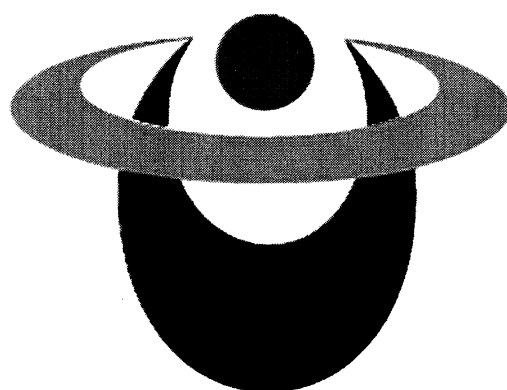


教育に関する事務の管理及び執行の  
状況の点検及び評価結果報告書

(令和元年度分)



時と水ゆったり流れる

平川市

令和2年12月

平川市教育委員会



## はじめに

平川市教育委員会は、「あふれる笑顔 ぐらし輝く 平川市」の実現に向けて、未来を切り拓く子どもたちの育成、生涯にわたるスポーツライフの推進、知識と経験があふれる生涯学習の推進、感性をはぐくむ芸術文化の振興に努め、「郷土への愛着と誇りを持ち、健やかで、こころ豊かなひとづくり」を目指した教育を推進しています。

その中で、令和元年度は、第2次平川市長期総合プランの3年目に当たり、魅力あるひとづくりを基本目標に、健やかなひとづくりとこころ豊かなひとづくりの基本政策に則し、教育施策の推進に努めてまいりました。

本報告書は、当該年度に実施した事務事業について点検及び評価した結果をとりまとめたものであり、作成に当たっては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、点検及び評価の客観性を一層確保するため、各分野に精通した学識経験者の意見を求め、それを反映させました。

本報告書は、議会へ提出するとともに、公表することで、市民への説明責任を果たし、今後の教育施策の更なる充実につなげてまいりたいと考えております。

市民の皆様には、本報告書をご覧いただき、本市の教育に対する取組みについてご理解を深めていただければ幸いです。

今後も、市民の皆様にご信頼される教育行政を推進してまいりますので、より一層のご理解とご協力をお願いいたします。

令和2年12月

平川市教育委員会

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

# 目 次

1. 令和元年度教育委員会の活動状況	
(1) 教育委員構成	1
(2) 教育委員会会議状況	1
(3) その他の活動状況	4
2. 教育委員会における事務の点検・評価	
(1) 自己点検・評価の実施状況	6
(2) 具体的な点検・評価の方法	6
3. 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価	
(1) シート1	
教育委員会が管理及び執行する事務	7
(2) シート2	
教育委員会が管理及び執行を教育長に委任する主な事務	8
(3) 事務事業評価表	9～32

## 1. 令和元年度教育委員会の活動状況

期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日

### (1) 教育委員構成

教育行政における責任体制の明確化など、教育委員会改革として「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が平成27年4月に改正され、教育長と教育委員長の仕事を一本化した、新教育委員会制度が始まりました。

平川市では、平成30年2月26日に教育長が新たに市長より任命され、新教育委員会制度に移行しております。

令和2年2月24日まで

職名	氏名	任期	備考
教育長	柴田正人	H30.2.26～R3.2.25（2期）	
委員	内山浩子	H28.2.25～R2.2.24（3期）	教育長職務代理者
委員	佐々木幸子	H29.3.6～R3.3.5（3期）	
委員	工藤甚三	H31.3.8～R5.3.7（3期）	
委員	葛西万博	H30.2.26～R4.2.25（2期）	
委員	駒井優子	H29.6.11～R3.6.10（2期）	

令和2年2月25日から

職名	氏名	任期	備考
教育長	柴田正人	H30.2.26～R3.2.25（2期）	
委員	佐々木幸子	H29.3.6～R3.3.5（3期）	教育長職務代理者
委員	工藤甚三	H31.3.8～R5.3.7（3期）	
委員	葛西万博	H30.2.26～R4.2.25（2期）	
委員	駒井優子	H29.6.11～R3.6.10（2期）	
委員	中嶋静賢	R2.2.25～R6.2.24（1期）	

### (2) 教育委員会会議状況

毎月（原則第4火曜日開催）の定例会を計12回開催しました。また、令和2年3月には、平川市教育委員会職員の人事異動について臨時委員会を開催しました。

議案及び資料については、平川市教育委員会の事務の委任等に関する規則に則し、案件の整理を行い、議案様式を統一するなど会議運営について工夫しました。

また、審議が長時間にわたる場合は継続審議とし、より慎重な審議を行いました。

会議終了後は、教育委員会の透明性・公平性を図る観点から、会議録を作成し、市ホームページで公開しました。

会議	開催日時	議案番号等	内容	結果
第4回 定例会	4月23日 10:00~	報告第4号	平川市図書館条例施行規則の一部を改正する規則	承認
		議案第12号	平川市教育支援委員会委員の委嘱について	可決
		議案第13号	平川市いじめ防止対策審議会委員の委嘱について	可決
		議案第14号	平川市社会教育委員の委嘱について	可決
		議案第15号	平川市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について	可決
		議案第16号	令和2年度使用の中学校用教科用図書採択について	可決
		議案第17号 議案第18号	市内小・中学校の夏季一斉閉庁について 平成31年度奨学金新規貸与者の決定について	可決 可決
第5回 定例会	5月28日 13:30~	報告第5号 議案第19号	社会教育委員の委嘱について 消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係規則の整理に関する規則案	承認 可決
第6回 定例会	6月25日 10:00~	議案第20号	平川市文化財の指定の解除について	可決
		議案第21号	平川市スポーツ推進審議会委員の任命について	可決
		各課報告 各課報告	平川市新体育館名称審査委員会設置要綱の制定について 教育委員会所管施設の受動喫煙防止対策について	
第7回 定例会	7月23日 13:30~	議案第22号	令和2年度使用小・中学校用教科用図書採択について	可決
		各課報告	平川市学校給食センター調理等業務委託計画(案)について	
第8回 定例会	8月27日 13:30~			
第9回 定例会	9月25日 13:30~	報告第6号	令和元年度教育費9月補正予算について	承認 継続 審議
		議案第23号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について	
		各課報告	平川市特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部改正について	
		各課報告	平川市就学援助事業実施要綱の一部改正について	
第10回 定例会	10月23日 13:30~	議案第23号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について	継続 審議
		各課報告	平川市第2子以降幼稚園保育料無料化補助金交付要綱の廃止について	
		各課報告	平川市幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の廃止について	
		各課報告	平川市学校給食センター業務について	

会議	開催日時	議案番号等	内容	結果
第11回 定例会	11月26日 9:00~	議案第23号 各課報告 各課報告	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について 平川市副食費の施設による徴収に係る補足給付事業実施要綱について 平川市奨学金貸与に係る返還猶予及び免除に関する取扱要領について	可決
第12回 定例会	12月17日 13:30~	報告第7号 報告第8号 議案第24号 各課報告 各課報告 各課報告	平賀屋内運動場(ひらかドーム)、平賀テニスコート、平賀多目的広場及び平川市陸上競技場の指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について 令和元年度教育費及び学校給食センター費12月補正予算について 令和元年度平川市教育委員会被表彰者の決定について 平川市学校給食センター調理等業務委託業者選考審査委員会設置要綱について 住所異動等に伴う区域外等就学者について(今年1年分) 令和2年平川市教育委員会開催日程(案)について	承認  承認
第1回 定例会	1月23日 13:30~	報告第1号 各課報告 各課報告	令和元年度平川市教育委員会被表彰者追加の専決について 平川市スポーツ大会参加に関する補助金交付要綱の一部改正について 平川市学校給食センター調理等業務委託業者選考審査委員会委員について	承認
第2回 定例会	2月18日 13:30~	議案第1号 議案第2号 議案第3号 各課報告 各課報告 各課報告	令和2年度学校教育指導の方針と重点(案)について 第3次平川市子ども読書活動推進計画(案)について 県費負担教職員の人事異動について 令和元年度平川市立小・中学校卒業式告辞について 令和元年度平川市立小・中学校卒業式日程について 平川市スポーツ合宿等誘致に係る運動施設使用料等の減免に関する要綱について	可決  可決  可決
第1回 臨時会	3月17日 10:00~	議案第4号	平川市教育委員会職員の人事異動について	可決
第3回 定例会	3月26日 13:30~	報告第2号 報告第3号 報告第4号 報告第5号	碓ヶ関屋内温水プール(ゆうえい館)の指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について 平川市運動施設条例の一部を改正する条例案 令和元年度教育費3月補正予算について 令和2年度教育関係当初予算について	承認  承認 承認

会議	開催日時	議案番号等	内容	結果
第3回 定例会	3月26日 13:30~	議案第5号	平川市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則案	可決
		議案第6号	平川市職員の職制の見直しに伴う関係例規の整備に関する規則案	可決
		議案第7号	平川市運動施設条例施行規則の一部を改正する規則案	可決
		議案第8号	平川市学校給食センター事業就業規則を廃止する規則案	可決
		議案第9号	平川市文化財保護審議会委員の委嘱について	可決
		議案第10号	平川市郷土資料館運営協議会委員の委嘱について	可決
		議案第11号	令和2年度社会教育行政の方針と重点(案)について	可決
		議案第12号	令和2年度平川市図書館運営の方針と重点(案)について	可決
		議案第13号	令和2年度スポーツ行政の方針と重点(案)について	可決
		議案第14号	令和2年度平川市学校給食センター運営の方針と重点(案)について	可決
		各課報告	令和2年度平川市立小・中学校入学式日程について	
各課報告	令和2年度平川市立小・中学校入学式祝辞について			
各課報告	河川広場管理要綱の一部改正について			

### (3) その他の活動状況

#### ① 市議会定例会等への出席

教育長が、本会議、一般質問、常任委員会、臨時会等に出席し、必要に応じて教育行政に関する答弁を行いました。

#### ② 学校訪問

学校運営の実態把握を目的として、小学校9校、中学校4校の学校訪問を年2回(前期・後期)実施し、学校経営方針を中心に校長、教頭及び教務主任と意見交換を行いました。

これを踏まえ、後日、委員会において総括を行い、学校教育の更なる充実のため、委員間の共通理解を図りました。



前期

訪問日	訪問校等
5月13日	大坊小学校、猿賀小学校、尾上中学校
5月14日	竹館小学校、平賀東小学校、金田小学校
5月15日	松崎小学校、柏木小学校
5月16日	平賀西中学校、碓ヶ関中学校、碓ヶ関小学校
5月20日	小和森小学校、平賀東中学校

後期

訪問日	訪問校等
11月11日	平賀東小学校、平賀東中学校、竹館小学校、猿賀小学校、
11月12日	柏木小学校、小和森小学校、松崎小学校
11月13日	金田小学校、大坊小学校、碓ヶ関小学校、碓ヶ関中学校
11月14日	平賀西中学校、尾上中学校

③ その他行事・協議会等への出席

入学式・成人式・表彰式等の式典及び小学校陸上競技大会をはじめ学校の諸行事に積極的に参加し、子どもたちの教育活動の現状把握に努めました。

また、教育委員を対象とした会議、県及び東北ブロック等の研修会に参加し、委員としての幅広い識見を養い、本市の教育行政の資質向上に努めました。

## 2. 教育委員会における事務の点検・評価

### (1) 自己点検・評価の実施状況

#### ① 学識経験を有する者の活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定に基づき、学識経験を有する方の知見を活用するため、令和2年9月17日に「点検評価アドバイザー会議」を開催。

「点検評価アドバイザー」からいただいた意見を本報告書の原案作成に反映させました。

※令和2年度点検評価アドバイザー

村上 薫 氏〔平川市教育相談員〕

樋口 正博 氏〔NPO法人平川市スポーツ協会監事〕

須々田 孝聖 氏〔平川市未就学児指導教室主任療育指導員〕

#### ② 点検・評価

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、令和2年9月、10月、11月の教育委員会において、点検及び評価を行いました。

### (2) 具体的な点検・評価の方法

点検・評価は、次のとおり行いました。

① 教育委員会の令和元年度の活動状況について、本報告書にまとめて点検を行いました。

#### ② シート1

教育委員会が管理・執行する事務（教育委員会の会議に諮られる事項）について、進捗状況や、会議での審議状況を踏まえて点検を行いました。

#### ③ シート2

教育委員会が管理・執行を教育長に委任する主な事務事業について、その成果等を踏まえ、AからDの評価を行いました。

評価の基準

達成度	評価内容
A	達成している（100%）
B	ほぼ達成している（80%以上）
C	おおむね達成している（60%以上）
D	達成していない（59%以下）

### 3. 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価

(シート1)

#### 1 教育委員会が管理及び執行する事務

項目	点検
(1) 教育行政の基本方針を決定すること	教育行政の運営に関する一般方針については、年度末に教育委員会で各課の方針と重点を定め、「平川市の教育」の中で平川市教育委員会主要施策として公表している。各課では、方針に基づいて、教育行政の運営に努めた。
(2) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること	教育委員会の活動、教育委員会が管理・執行する事務と教育委員会が管理執行を教育長に委任する事務等について、点検評価アドバイザーの意見を参考に点検・評価を行い、教育委員会で承認を受け、議会に提出した。また、市ホームページに掲載し周知した。
(3) 学校、公民館、図書館その他の教育機関の設置及び廃止を決定し、並びにその敷地を選定すること	該当事例なし
(4) 1件の予定価格が500万円を超える教育財産の取得を市長に申し出ること	該当事例なし
(5) 県費負担教職員の懲戒及び県費負担教員たる校長の任免その他の進退について内申すること	学校管理運営規則及び学校職員服務等に関する規程に基づき、服務規律等の確保に努めた。また、毎月開催の定例校長会において、定期的に服務規律のマニュアルを提示し、具体的に指導し、交通違反、交通事故、体罰等の防止に努めた。 更には、校長の任免について、教育委員会に諮った。
(6) 教育長、事務局長、課長、館長、施設長及び所長の任免その他の人事に関すること	教育委員会職員の人事異動に関し、教育委員会に諮った。
(7) 教育委員会規則を制定し、又は改廃すること	教育委員会規則の制定等については、定例の教育委員会に諮り、委員の意見を聞きながら、慎重かつ的確に審議した。
(8) 教育予算その他市議会の議決を経るべき議案について市長に意見を申し出ること	教育委員会関係の条例制定や一部改正、予算、工事の請負契約等について、教育委員会に諮り、意見を求めた。
(9) 法令に定める附属機関の委員の任免、委嘱又は解職に関すること	各課で委嘱している各種委員の任命及び委嘱について、法令で規定されているものを教育委員会に諮り、意見を求め、採決した。
(10) 学齢児童及び生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること	該当事例なし
(11) 教科用図書を選定すること	令和2年度小学校及び中学校において使用する教科用図書について教育委員会に諮り、採決した。

## 2 教育委員会が管理及び執行を教育長に委任する主な事務

基本目標	基本政策	個別目標	具体的事務事業	評価	No	担当課
魅力あるひとづくり	健やかなひとづくり	未来を切り拓く子どもたちの育成	学校図書整備	B	1	学校教育課
			学校教育振興会	A	2	〃
			学校改築	B	3	〃
			小学校・中学校施設維持管理	A	4	〃
			学校給食の充実	B	5	学校給食センター
			平川市教職員研修	B	6	指導課
			平川市子ども議会	A	7	〃
			学力向上対策（学習支援員配置）	B	8	〃
			指導主事による学校訪問	B	9	〃
			いじめ防止対策	B	10	〃
			放課後子ども教室	B	11	生涯学習課
	生涯にわたるスポーツライフの推進	軽スポーツ巡回教室	B	12	スポーツ課	
		平川市スポーツ大会派遣補助金	B	13	〃	
		トップアスリート指導育成・強化	A	14	〃	
		平川市スポーツデー	B	15	〃	
		市民体育館整備	A	16	〃	
	こころ豊かなひとづくり	知識と経験が あふれる生涯 学習の推進	未来の担い手発掘・育成・支援	B	17	生涯学習課
			ひらかわの寺子屋	B	18	平賀公民館
			定例おはなし会	B	19	平川市図書館
			図書館利用促進事業	B	20	〃
			「平川の子どもたちが選ぶおすすめ本」事業	B	21	〃
		感性をはぐくむ芸術文化の振興	公共ホール音楽活性化	B	22	文化ホール
			文化財保護	B	23	生涯学習課
			郷土資料館	B	24	郷土資料館



# 事務事業評価表

事業 No. 2

事務事業名	学校教育振興会	担当課	学校教育課
-------	---------	-----	-------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	2 生きる力をはぐくむ学校教育の充実
事業年度	令和元年度	
事業の目的	「平川市学校教育振興会補助金交付要綱」に基づき、小・中学校間の連携強化に関わる事業や部活動等の大会出場に係る費用などに補助金を交付し、学校教育・スポーツ・文化芸術の振興及び保護者の負担軽減を図る。	

## 2. 実施方法・実績（具体的に記載）

### 【実施方法】

小学校陸上競技大会、学校音楽発表会、文集ひらかわ、学校保健会、児童・生徒作品展の連携事業又は各学校の部活動等の大会出場に係る経費に対し、交付要綱に基づき補助金を交付する。

### 【実績】

事業名	実績額	備考
①部活動等の大会派遣費	7,057,700円	※ 延べ68大会
②連携事業費	小学校陸上競技大会運営費	472,155円
	学校音楽発表会運営費	560,176円
	文集ひらかわ	400,000円
	学校保健会	57,000円
	児童・生徒作品展	170,000円
計	8,717,031円	

※ 対象児童・生徒延べ人数：556人、引率者延べ人数：89人

【事業費】 事業費総額 8,718千円（うち国・県補助 0千円）

## 3. 評価

<b>A</b>	<p>平川市学校教育振興会補助金を活用した小学校陸上競技大会等の連携事業は、補助金の活用により、学校教育の振興と学校間の連携強化が図られた。</p> <p>また、部活動の大会派遣費についても、補助金の活用により、スポーツ・文化の振興に寄与することができ、保護者の負担軽減が図られた。</p>
----------	---

# 事務事業評価表

事業 No. 3

事務事業名	学校改築	担当課	学校教育課
-------	------	-----	-------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	1 学校教育環境の充実
事業年度	令和元年度	
事業の目的	老朽化した学校の改築を行い、安全安心な教育環境を維持する。	

## 2. 実施方法・実績

### 【実施方法】

耐力度調査実施により危険改築の要件を満たした校舎及び屋内運動場について、設計業務を行う。

設計が完了した施設は、国庫補助（負担金及び交付金）等を活用して工事を実施している。

### 【実績】

#### (1) 平賀東小学校校舎及び屋内運動場改築事業

委託料（監督支援業務ほか）	9,478,507円
工事請負費（外構工事、物置小屋設置工事ほか）	251,584,760円
事務費	224,316円
合計	261,287,583円

#### (2) 猿賀小学校校舎改築事業

委託料（工事監理業務ほか）	11,240,791円
工事請負費（改築・解体工事ほか）	441,103,280円
備品購入費（スクールセットほか）	19,304,664円
事務費	487,872円
合計	472,136,607円

#### (3) 碓ヶ関小学校校舎改築事業

委託料（実施設計業務）	19,580,000円
-------------	-------------

【事業費】 事業費総額 753,005千円（うち国補助 66,802千円）

## 3. 評価

B	<p>本事業で、平賀東小と猿賀小 2 校の改築工事の大部分が完了し、安全安心な教育環境を維持することができた。</p> <p>また、碓ヶ関小改築事業の実施設計も完了し、計画どおりに事業を進め、教育環境の充実が図られた。</p>
---	---

# 事務事業評価表

事業 No. 4

事務事業名	小学校・中学校施設維持管理	担当課	学校教育課
-------	---------------	-----	-------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	1 学校教育環境の充実
事業年度	令和元年度	
事業の目的	学校施設の不具合が生じた箇所を工事・修繕し、安全安心な教育環境の維持管理に努める。	

## 2. 実施方法・実績

### 【実施方法】

電気設備や消防設備、遊具などは、定期的に保守管理を行い、状況把握に努める。

また、学校施設や備品の破損等については、速やかに状況を確認し、緊急度・優先度の高いものから修繕等を実施する。

### 【実績】

#### (1) 小学校の主な工事・修繕

大坊小学校洋式トイレ改修工事	8,586,000円	
竹館小学校ランチルーム屋根改修工事	7,700,000円	
空調設備設置工事	118,443,600円	
修繕料	4,369,399円	猿賀小体育館油送設備修繕ほか
小学校総合計	139,098,999円	

#### (2) 中学校の主な工事・修繕

尾上中学校職員室床張替工事	3,373,700円	
平賀東中学校防火戸修繕工事	3,773,000円	
空調設備設置工事	47,689,400円	
修繕料	2,617,345円	平賀東中体育館建具修繕ほか
中学校総合計	57,453,445円	

【事業費】 事業費総額 196,553千円（うち国補助 37,640千円）

## 3. 評価

<b>A</b>	<p>小中学校普通教室へ空調設備を設置したほか、トイレの洋式化工事、屋根や床の改修工事などを行い、教育環境の充実を図ることができた。</p> <p>学校施設の修繕については、施設や設備の点検結果のほか、学校からの要望を受けて現地確認を行うなど、優先順位を決めて計画的に実施した。</p>
----------	---



# 事務事業評価表

事業 No. 5

事務事業名	学校給食の充実	担当課	学校給食センター
-------	---------	-----	----------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	1 学校教育環境の充実
事業年度	令和元年度	
事業の目的	ぬくもりのある学校給食を提供するため、衛生管理の徹底などが円滑に行えるよう管理運営体制の充実を図るとともに、第2次平川市食育推進計画に掲げられた、地元農産物利用率の目標値 20%の達成を目指す。	

## 2. 実施方法・実績

### 【実施方法】

- ①栄養士等による調理員に対する衛生講習会及び衛生管理指導を実施し、調理員の衛生管理に関する知識の習得と意識付けによって、衛生管理の徹底を図る。
- ②地元農産物利用率目標達成のため、農家などから給食センターが直接購入できるよう地元農産物供給者を募集し、運搬方法等の問題解消を図って地元農産物の利用を促進しながら、子どもたちに喜ばれる魅力的な給食献立の創意工夫に努める。

### 【実績】

- ①衛生管理の徹底、調理員の意識向上により食中毒防止が図られ、効率的な業務に取り組み、給食を定時に提供できた。
- ②野菜などの生産農家に地元農産物供給者として登録をしてもらい、直接食材を購入したこと、また、東部地区の供給者については、集荷配送業務を別途委託し、給食センターへの納入を容易にしたことで、地元農産物の利用率が向上した。

#### ①学校給食センター食数等

基本食数 (令和元年5月1日現在)	令和元年度 給食日数	令和元年度 総食数
2,340 食/日	184日	403,411食

#### ②農産物利用率

年 度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
地 元	15.0%	15.3%	16.8%	18.1%	16.0%	19.2%
県内(地元含む)	65.2%	65.7%	64.3%	63.6%	65.5%	62.9%

※H30年度は、平賀学校給食センターの増築改修工事により休業期間があったため、R元年度はH29年度と比較することとした。

【事業費】 事業費総額 242,146千円（うち国・県補助 0千円）

## 3. 評価

<b>B</b>	<p>衛生管理等の徹底を図ることにより、ノロウイルス感染症及び食中毒等の発生を予防でき、安全安心な給食を各小・中学校へ遅延なく提供することができた。</p> <p>地元農産物の利用は、市内の農家から直接野菜等を購入したことなどにより、前々年度より 1.1 ポイント上昇したものの、目標には達していないため、今後とも、安全安心な給食を提供しながら、地元並びに県内農産物の利用率を高める必要がある。</p>
----------	---

# 事務事業評価表

事業 No. 6

事務事業名	平川市教職員研修	担当課	指導課
-------	----------	-----	-----

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	1 学校教育環境の充実
事業年度	令和元年度	
事業の目的	教員としての専門性を高め、資質の向上を図ることにより、授業を核にした生き生きとした学級づくりの推進に資するとともに、学校運営への参画意欲を高め、平川市の学校教育の活性化を目指す。	

## 2. 実施方法・実績（具体的に記載）

### 【実施方法】

市内の小・中学校教職員を対象とした研修会、講座を実施する。

### 【実績】

管理職として期待される教員には、その自覚と学校運営に参画する意欲を高めることができた。また、学級担任等には、学級経営に対する明確な視点が与えられたことにより、教科指導や生徒指導の指導力向上を図った。

講座名	実施年月日	参加者
平川市教職員合同着任式講演	平成31年4月4日	215名
平川市教師力向上講座①	令和元年5月31日	42名
平川市全員研修講座	令和元年7月22日	189名
平川市夏季研修講座	令和元年8月2日	31名
平川市教師力向上講座②	令和元年8月8日	56名
幼保小連携研修	令和元年12月25日	36名

【事業費】 事業費総額 124千円（うち国・県補助 0千円）

## 3. 評価

<b>B</b>	特別支援教育や外国語科、プログラミング教育など、新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりに係る内容のほか、児童虐待やLGBTなど喫緊の教育課題に即した講座を開催し、講義や演習を通して市内教員の資質向上を図った。教員の実態を踏まえて、より実践的な研修内容にステップアップし、教員の指導力の向上を図る必要がある。
----------	--

# 事務事業評価表

事業 No. 7

事務事業名	平川市子ども議会	担当課	指導課
-------	----------	-----	-----

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	2 生きる力をはぐくむ学校教育の充実
事業年度	令和元年度	
事業の目的	市議会議場において、市内小学生の代表が議員として議会を疑似体験することを通して、行政や市議会の仕組みについて学び、平川市の「まちづくり」に関心を深める機会とする。	

## 2. 実施方法・実績（具体的に記載）

<p><b>【実施方法】</b> 各校2人ずつ18人の子どもたちが、議会制民主主義の仕組みについて学ぶとともに、平川市が抱える課題について考え、話し合いを通して自分たちでその解決策をまとめる。 実際に行われる市議会と同じように、市議会議場において、子ども議会議員による質問と子ども議会決議を行う。</p> <p><b>【実績】</b> 小学生の代表者が、議員の立場になって質問を考えることで、平川市を見つめ直すとともに、将来の「まちづくり」について考えさせることができた。 子ども議会において、議員として質問を考えたり意見を述べたりすることを通して、市議会の仕組みを理解させることができた。</p> <p><b>【事業費】</b> 事業費総額 1千円（うち国・県補助 0千円）</p>
--

## 3. 評価

A	子ども議会を通して議会制民主主義の仕組みを学び、ふるさと平川市に思いを寄せ、将来のまちづくりへの関心を深めさせるとともに、郷土を愛し、その発展に努めようとする心や態度を育むことができた。
---	---

# 事務事業評価表

事業 No. 8

事務事業名	学力向上対策（学習支援員配置）	担当課	指導課
-------	-----------------	-----	-----

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	1 学校教育の環境の充実
事業年度	令和元年度	
事業の目的	市内全小・中学校に学習支援員を配置し、個に応じたきめ細かな指導の充実を図り、子どもたちの学力向上を目指す。	

## 2. 実施方法・実績（具体的に記載）

### 【実施方法】

学習支援員19名を、すべての小・中学校に1から2名配置し、授業における個別支援に努めるほか、中学校においては長期休業中の学習支援を行う。

適切な支援の在り方について研さんを積むため、学習支援員研修会を年2回開催する。

### 【実績】

小学校9校では各校の実態に合わせて、学力向上重点学年や教科（主に算数）に応じて配置し、学級担任との連携のもと支援を行った。

中学校4校では、主に数学、英語を中心として教科に応じた配置を行い、学習理解の程度に合わせた個別支援を行った。

支援員19名（小学校12名、中学校7名）	
賃金（時給1,200円）	16,316,400円
通勤手当（対象17名）	1,114,800円
総支給額	17,431,200円

【事業費】 事業費総額 17,432千円（うち国・県補助 0千円）

## 3. 評価

<b>B</b>	<p>子どもたちに発言を促したり、気づいていない視点を示したりするなど、児童・生徒一人ひとりの実態を把握し、学習意欲を引き出しながら、学ぶ楽しさを実感させ、基礎学力の定着・向上が図られた。</p> <p>学級担任等との連携を一層充実させるために、管理職等に有効な活用の仕方について啓発するとともに、支援員の確保や個々の支援員の資質向上を図る必要がある。</p>
----------	--

# 事務事業評価表

事業 No. 9

事務事業名	指導主事による学校訪問	担当課	指導課
-------	-------------	-----	-----

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	2 生きる力をはぐくむ学校教育の充実
事業年度	令和元年度	
事業の目的	指導主事が直接学校を訪問し、学校運営等に関わる現状把握と諸問題解決について指導・助言を行う。	

## 2. 実施方法・実績（具体的に記載）

### 【実施方法】

計画訪問、要請訪問（学校からの要請）、生徒指導訪問（長期休業中及び長期休業明けの訪問）を実施する。

### 【実績】

#### ①計画訪問

各校の教育課題への取組状況を把握するとともに、授業への具体的な指導・助言をし、授業力向上に寄与できた。

#### ②要請訪問

授業実践に対する具体的な指導・助言を通して、教員の研修意欲を高めることができた。

#### ③生徒指導訪問

計画訪問、随時訪問を通して、児童・生徒の状況を把握し、問題行動等の未然防止、事案対処に資することができた。長期休業中及び長期休業明けに市内全小・中学校を訪問し、長期休業中の児童・生徒の行動についての実態把握及び指導・助言により、問題行動の減少といじめ防止等の取組について共通理解を図ることができた。

#### 学校訪問実施状況

訪問内容 / 実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
計画訪問			8校	5校						
要請訪問						2校	4校	5校	3校	
生徒指導訪問	13校			13校	13校				13校	13校

【事業費】 事業費総額 113千円（うち国・県補助 0千円）

## 3. 評価

<b>B</b>	平川市学校教育指導の方針と重点を確実に伝達するとともに、校内研修が一層充実するよう、具体的かつ適切に指導・助言を行った。学習指導要領改訂に伴う移行期間であることを踏まえて、教育課程の管理や移行措置についての確認はもちろんのこと、授業改善等についての指導・助言を継続していく必要がある。
----------	--

# 事務事業評価表

事業 No. 10

事務事業名	いじめ防止対策	担当課	指導課
-------	---------	-----	-----

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	3 学校・家庭・地域の連携
事業年度	令和元年度	
事業の目的	市、学校、家庭、地域住民、その他関係機関と連携し、いじめ防止等の対策を総合的かつ効果的に推進する。	

## 2. 実施方法・実績（具体的に記載）

<p><b>【実施方法】</b></p> <p>(1) 定期的な指導主事訪問等で各校のいじめ防止等への取組状況を把握し必要に応じて指導・助言をする。</p> <p>(2) 各校にいじめ等に係る報告書を毎月提出させるとともに、特に、保護者対応（いじめの報告）や暴力行為の有無等について必要に応じて指導・助言をする。</p> <p>(3) 各校にインターネットトラブル事例集（第4版）を配布し、ネットによるいじめの発生を未然に防ぐよう、保護者への周知・啓発について指導する。</p> <p>(4) 平川市いじめ問題対策連絡協議会と平川市いじめ防止対策審議会を設置し、関係機関との連携を図る。</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>各校にいじめの認知に係る理解が定着し、いじめの積極的認知や早期対応に繋がり、いじめ防止対策を推進することができた。また、関係機関との連携やインターネットトラブル事例集（第4版）の配布により、ネットトラブルに係る情報を各校に提供し、ネットトラブルの未然防止に繋がった。</p> <p><b>【事業費】</b> 事業費総額212千円（うち国・県補助 0千円） 審議会等34,000円、インターネットトラブル事例集（改訂版）178,112円</p>
---

## 3. 評価

<b>B</b>	いじめの積極的認知により、いじめを早期に発見し、解消に向けた取組に繋がることができている。引き続き、いじめ防止の実効性を高めるために関係機関と連携を強化するとともに、いじめやその積極的な認知について保護者や地域住民への周知に努める必要がある。
----------	---

# 事務事業評価表

事業 No. 11

事務事業名	放課後子ども教室	担当課	生涯学習課
-------	----------	-----	-------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	3 学校・家庭・地域の連携
事業年度	令和元年度	
事業の目的	放課後の子どもたちの安全安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の協力を得て、子どもたちとともに体験活動や地域住民との交流活動等の取り組みを実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かに健やかに育まれる環境づくりを推進する。	

## 2. 実施方法・実績

<p><b>【実施方法】</b>            教育活動推進員や教育活動サポーター（地域のボランティア団体）に運営を依頼し、「読み聞かせ」、「ものづくり」、「レクリエーション」、「スポーツ（新体操）」教室などを開催し、計画的に活動拠点（居場所）を確保している。</p> <p>(1) わくわくひらかわ教室（市内全域） 年 9回（あみまつハウス）            (2) わくわく新体操教室（碓ヶ関地区） 年40回程度（碓ヶ関RGC）            (3) わくわく遊び体験教室（放課後児童クラブと連携）年1回（あみまつハウス、かしわっこクラブ）</p> <p><b>【実績】</b>            わくわくひらかわ教室を文化センター、わくわく新体操教室を碓ヶ関小学校、わくわく遊び体験教室を柏木小学校で実施した。</p> <p>(1) わくわくひらかわ教室 開催回数 9回 対象者43名（平賀40名、尾上3名、碓ヶ関0名）            (2) わくわく新体操教室 開催回数39回 対象者 5名            (3) わくわく遊び体験教室 開催回数 1回 対象者12名            ※わくわくひらかわ教室については、先着順の募集とした。</p> <p><b>【事業費】</b> 事業費総額 285千円（うち国・県補助 150千円）</p>
---

## 3. 評価

<b>B</b>	<p>本事業は、地域の大人や他校の子どもたちと交流ができる重要な場となっている。教室を重ねるごとに学区や学年を越えて協力しあう姿が見られ、気付きや考える力が育まれた。</p> <p>現在、「わくわくひらかわ教室」への申込者が一部の地域に偏っていることから、今後は市内全域からの参加を促すために工夫していく必要がある。</p>
----------	--

# 事務事業評価表

事業 No. 12

事務事業名	軽スポーツ巡回教室	担当課	スポーツ課
-------	-----------	-----	-------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	3 生涯にわたるスポーツライフの推進
	主要施策	2 スポーツ・レクリエーション活動の充実
事業年度	令和元年度	
事業の目的	市民スポーツ推進のため、市民の要望に応じ平川市スポーツ推進委員を派遣し軽スポーツの指導及び普及を図る。	

## 2. 実施方法・実績

### 【実施方法】

スポーツ推進委員による出前教室を実施する。

- ① 広報、ホームページによる事業の周知
- ② 軽スポーツを希望する団体からの申請受付
- ③ スポーツ推進委員の調整
- ④ スポーツ推進委員の派遣
- ⑤ 実績報告・謝金支払

### 【実績】

内容	件数	参加者	推進委員	備考
体操教室	15	275	15	町居保育園 8 件、子ども園あらや 5 件 中央こども園 2 件
親子レク(PTA)	6	305	18	猿賀小(2、3、5 年生)、金田小(2 年生) 竹館小(1、2 年生合同)、松崎小(3 年生)
スキー教室	2	27	3	町居保育園、中央こども園 各 1 回
その他	2	49	3	わくわくひらかわ教室 日沼町会ニュースポーツ大会
計	25	656	39	

【事業費】 事業費総額 97千円 (うち国・県補助 0千円)

## 3. 評価

<b>B</b>	<p>平川市スポーツ推進委員を講師に、市民のスポーツへ親しむ環境づくりに努めた。</p> <p>今後、年齢別のプログラムを充実させるため、推進委員に対する研修会などを開催し、広く市民に軽スポーツを通じたスポーツの普及に努める必要がある。</p>
----------	--



事務事業名	平川市スポーツ大会派遣補助金	担当課	スポーツ課
-------	----------------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	3 生涯にわたるスポーツライフの推進
	主要施策	3 夢に向かう競技スポーツの推進
事業年度	令和元年度	
事業の目的	市内小・中学生のスポーツ活動及びスポーツ少年団の振興を目的に、東北大会・全国大会などに参加するための交通費等一部経費を助成する。	

2. 実施方法・実績

【実施方法】

市内小・中学生が県大会等の成績により、東北大会・全国大会などに参加するための交通費等一部経費（学校教育振興会補助金交付要綱対象者を除く）の助成となる。

- ①東北や全国大会の出場権を得た個人または団体から申請を受ける。
- ②スポーツ課で精査した後、企画財政課に提出し交付決定される。
- ③申請者より請求を受け補助金を交付する。
- ④大会終了後、申請者より実績報告を受け補助金を精算する。

助成金：東北（秋田・岩手） 5,000円、北海道、南東北（宮城・山形・福島） 10,000円、  
関東、甲信、北陸、東海 15,000円、近畿 20,000円、中国、四国、九州 25,000

円

【実績】

申請種目	交付件数	交付人数	支給額
ソフトテニス	10	41	432,000
卓球	4	4	70,000
陸上	4	4	40,000
一輪車	3	21	285,000
剣道	3	3	50,000
空手	2	32	330,000
テニス	2	2	15,000
バレーボール	2	16	160,000
ソフトボール	1	20	100,000
体操	1	2	20,000
バドミントン	1	1	5,000
計	33	146	1,507,000

【事業費】 事業費総額 1,507千円（うち国・県補助 0千円）

3. 評価

<b>B</b>	東北大会・全国大会に小・中学生選手（監督・コーチを含む）146名が出場して上位入賞するなど、小・中学生のスポーツに対する意欲向上に繋がった。今後、さらに子どもたちのスポーツへの意識の高揚に努める必要がある。
----------	---

# 事務事業評価表

事業 No. 14

事務事業名	トップアスリート指導育成・強化	担当課	スポーツ課
-------	-----------------	-----	-------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	3 生涯にわたるスポーツライフの推進
	主要施策	3 夢に向かう競技スポーツの推進
事業年度	令和元年度	
事業の目的	平成 29 年度にオープンした平川市陸上競技場において本事業を実施した。令和元年度は、世界レベルのトップランナーを招いて、市内小中学生と市民ランナーを対象とした陸上教室を開催し、陸上競技の底辺拡大とスキルアップを図る。	

## 2. 実施方法・実績

<p><b>【実施方法】</b> 平川市陸上競技場において陸上教室を開催した。 ①マネジメント会社を通し、アスリート（講師）を調整し斡旋してもらう。 ②トップアスリートによる教室を実施する。 ③来年度のアスリートを検討する。</p> <p><b>【実績】</b> 日 時：令和元年8月24日（土） 午前の部「小中学生対象陸上教室」 9:30～11:30 参加者：114名 午後の部「市民ランナー対象陸上教室」 13:30～15:00 参加者：18名 場 所：平川市陸上競技場 講 師：「谷川真理」氏（東京国際女子マラソン、パリマラソン優勝） 「泉水朝宏」氏（青森県スポーツ科学センター スポーツ科学専門員）</p> <p><b>【事業費】</b> 事業費総額 1,144千円（うち国・県補助 0千円）</p>
--

## 3. 評価

A	<p>国際女子マラソンなどで優勝した実績のあるトップアスリートを講師に招き、直接指導を受けることで、子どもや市民ランナーの陸上競技の技術向上に繋がり、スポーツに対する興味や関心が高まった。</p> <p>次年度は「ひらかわドリームアリーナ」においての本事業を実施することとしている。</p>
---	---

# 事務事業評価表

事業 No. 15

事務事業名	平川市スポーツデー	担当課	スポーツ課
-------	-----------	-----	-------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	3 生涯にわたるスポーツライフの推進
	主要施策	2 スポーツ・レクリエーション活動の充実
事業年度	令和元年度	
事業の目的	生涯にわたって心身共に明るく健康な生活を送ることができるよう、市民が気軽にスポーツに親しむ場として「平川市スポーツデー」を開催する。	

## 2. 実施方法・実績

<p><b>【実施方法】</b> 平川市陸上競技場において、スポーツイベントを開催する。</p> <p>①実施メニューを決定する。 ②市民及び各団体へ広報・ホームページ・チラシなどで参加者を募集する。 ③アトラクション参加団体及びボランティア団体への協力依頼する。 ④参加者を取りまとめ種目の参加順を決める。 ⑤スポーツデーを実施する。</p> <p><b>【実績】</b> (開催内容) 日 時：令和元年7月13日(土) 場 所：平川市陸上競技場、ひらかドーム、平賀屋内温水プール 種目数：15種目、参加者：1,004名</p> <p>○午前 &lt;陸上競技場&gt; 幼児競争42名、(新)りんご袋かけ競走41名、ちびっこ親子リレー18名、玉入れ競走120名、ボール転がしリレー102名、(新)輪投げリレー95名、大縄跳び136名、手押し相撲41名、 (新)ひらかわりレー90名、(新)AMチャンバラ合戦125名、ジャベリックボール80名、フライングディスク16名</p> <p>○午後 &lt;ひらかドーム&gt; (新)PMチャンバラ合戦38名、(新)リアル野球盤30名</p> <p>○午後 &lt;平賀屋内温水プール&gt; (新)カヌー教室30名</p> <p><b>【事業費】</b> 事業費総額 1,599千円 (うち国・県補助 0千円)</p>
---

## 3. 評価

<b>B</b>	<p>本事業は、「平川市老人クラブ連合会」「平川市観光協会」の協力を得て、市民の誰もが気軽に参加することができるスポーツイベントとして実施した。</p> <p>今後、参加人数の増加を図るなど、市民参加型スポーツイベントとして定着するよう取り組んでいく必要がある。</p>
----------	---



# 事務事業評価表

事業 No. 17

事務事業名	未来の担い手発掘・育成・支援	担当課	生涯学習課
-------	----------------	-----	-------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	2 ころ豊かなひとづくり
	個別目標	5 知識と経験があふれる生涯学習の推進
	主要施策	1 年代に応じた多様な学習機会の提供
事業年度	令和元年度	
事業の目的	地域活動に参画意欲のある若い人材の発掘・育成・支援を行うとともに、共に学び、実践を通しながら繋がりを深め、将来の地域を担う人材の育成を行う。	

## 2. 実施方法・実績

<p><b>【実施方法】</b>                  地域活動へ参画する若者の育成について、平成28年度から平成30年度まで弘前大学と連携して取り組んできた。令和元年度からは市単独の事業となる。まずは「市のことを知る」「仲間づくりをする」ことを目的として、先進事例や地域の特色を学習する機会を提供しながら、多世代・異業種交流を行った。参加者の募集については、平川市文化センターFaceBookにより周知を行った。</p> <p><b>【実績】</b>                  第1回カフェミーティング（8月31日） 会場：平川市文化センター 参加者：8名                  ①ゲストトーク：h&amp;fプラス ②交流懇談会（一品料理づくり＋懇談会）                  第2回カフェミーティング（9月28日） 会場：盛美園 参加者：14名                  ①名所見学：国指定名勝盛美園 ②交流懇談会（BBQ（平川サガリなど））                  第3回カフェミーティング（10月12日） 会場：岩手県盛岡市 ※台風の影響により中止                  ①イベント視察「盛岡町家de手作り市 てどらんご」 ②情報交換                  第4回カフェミーティング（2月22日） 会場：平川市文化センター 参加者：12名                  ①ゲストトーク：LocalQuest代表高橋新汰</p> <p><b>【事業費】</b> 事業費総額 81千円（うち国・県補助 0千円）</p>
---

## 3. 評価

<b>B</b>	<p>「市のことを知る」「仲間づくりをする」ことを目的に、地域の学習や人との交流を行った。参加対象を、仕事や子育て等で自由時間の捻出が難しい20歳代から40歳代としたため、参加者を増やすことに苦慮している。</p> <p>今後、参加者の増加を図るため、様々な世代の方々が交流を楽しみながら、学習できる企画に取り組む必要がある。</p>
----------	---

# 事務事業評価表

事業 No. 18

事務事業名	ひらかわの寺子屋	担当課	平賀公民館
-------	----------	-----	-------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	2 こころ豊かなひとづくり
	個別目標	5 知識と経験があふれる生涯学習の推進
	主要施策	1 年代に応じた多様な学習機会の提供
事業年度	令和元年度	
事業の目的	生涯にわたって自らが輝き続けるために、講演や文化芸術活動への参加を通して現代社会に適応できる教養を身に付けるとともに、その知識等を積極的かつ自主的に地域活動に活かせるひとづくりを行うものである。	

## 2. 実施方法・実績

【実施方法】 ※令和元年度より「平成の寺子屋」から「ひらかわの寺子屋」へ名称変更

20歳以上の市民を対象に、現代社会に適応する教養を身に付けるための講座や移動学習会等を開催する。講座終了後は、次回以降の参考とするためアンケートを実施している。

### 【実績】

○開催回数：講演会1回、移動学習会1回、体験教室7回、コンサート1回 計10回

○参加者数：延べ191人（男性23人、女性168人）

アンケートの結果、参加者の感想はおおむね良好であり、内容については満足してもらっている印象がある。

開催日	内 容	人数	開催日	内 容	人数
9/7	豊かな香りで心を労わる健康茶講座	17人	12/7	Fagianoクリスマスコンサート	18人
6/15	米ちゃんと楽しくお散歩しよう	29人	1/18	お手軽！つまみ細工体験講座	20人
7/20	簡単！ゆるストレッチ講座	7人	2/1	骨粗しょう症について学ぼう	35人
10/26	スマホ・タブレットで手軽に写真講座	13人	2/8	日常生活に役立つ綺麗な字の書き方	18人
11/30	癒しの苔玉をつくろう	20人	2/29	たんぱく質不足を解消する料理教室	14人

【事業費】 事業費総額 148千円（うち国・県補助 0千円）

## 3. 評価

<b>B</b>	<p>10 講座の開催により、内容によって参加人数の変動はあるものの、様々な学びの場を提供することができた。</p> <p>参加者層が固定化しつつあることから、今後、さらなる参加を促すため、内容を充実させていく必要がある。</p>
----------	---

# 事務事業評価表

事業 No. 19

事務事業名	定例おはなし会	担当課	平川市図書館
-------	---------	-----	--------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	2 こころ豊かなひとづくり
	個別目標	5 知識と経験があふれる生涯学習の推進
	主要施策	1 年代に応じた多様な学習機会の提供
事業年度	令和元年度	
事業の目的	幼児から小学6年生の子どもたちを対象に読み聞かせを通して、読書に興味をもたせ、読書習慣を身に付けるようにするほか、これを機会に図書館の利用促進を図る。 また、学区や学年が異なる子どもたちの相互交流の場にするほか、思い出づくりの一助となることを目的とする。	

## 2. 実施方法・実績

### 【実施方法】

月例おはなし会と時節おはなし会は、その都度のテーマに即した内容としている。実施方法としては、平川市読書推進運動協議会（おはなしこっこん）に読み聞かせを依頼する。テーマや内容については、同協議会と図書館間で打ち合わせをして決定し、その内容に則した本を選書する。また、会場の飾り付けも行い、雰囲気づくりにも工夫を凝らしている。周知方法としては、「広報ひらかわ」や市ホームページ、及び図書館内や市内各小学校、こども園等へのポスターの掲示、チラシの配布等を行っている。

### 【実績】

- ・月例おはなし会  
開催数：平賀図書館 8回、尾上図書館 8回 参加人数：102名
- ・時節おはなし会  
開催数：平賀図書館 3回、尾上図書館 2回、碓ヶ関公民館 3回 参加人数：507名
- ・体験型おはなし会  
開催数：平賀図書館 1回 参加人数：24名

講師等謝金	131,800円
賄材料費	27,208円
おかし代	30,460円
支出計	189,468円

【事業費】 事業費総額 189千円（うち国・県補助 0千円）

## 3. 評価

<b>B</b>	各種おはなし会に参加した子どもたちが、図書館を身近に感じて利用するようになり、読書に興味や関心をもつきっかけづくりとなっている。また、時節おはなし会は、子どもたちにとって長期休業中の思い出になっている。今後、子どもたちに読書習慣が身に付くよう、内容を工夫して取り組む必要がある。
----------	---

# 事務事業評価表

事業 No. 20

事務事業名	図書館利用促進事業	担当課	平川市図書館
-------	-----------	-----	--------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	2 こころ豊かなひとづくり
	個別目標	5 知識と経験があふれる生涯学習の推進
	主要施策	2 生涯学習環境の整備
事業年度	令和元年度	
事業の目的	図書館の目的は、図書、記録、その他必要な資料を収集・整理・保存し、利用者の教養・調査研究・レクリエーション等に資することである。 上記の目的のため、平賀図書館・尾上図書館・碓ヶ関公民館図書コーナーの適切な蔵書管理と利用拡大を図ることを目的とする。	

## 2. 実施方法・実績

### 【実施方法】

限られた予算の中で蔵書の充実を図るため、平賀・尾上両館では重複購入をなくするほか、無償資料の収集に努めている。また、両館にない資料は、県内相互貸借システムにより、他館から取り寄せて貸し出しを行うなどし、利用者の要望に応じている。

また、テーマに応じた「展示」コーナーを設け、魅力ある図書の紹介に努めたほか、「文学散歩青森県」、「子ども図書館員」「古典入門講座」等の事業や、中・高校生の職場体験の積極的な受け入れなどを行い、利用者拡大に向けた取組を行っている。

### 【実績】

	年度	購入	寄贈	その他	貸出人数	貸出冊数
平賀図書館	元	1,612冊	854冊	2冊	11,740人	45,440冊
	30	1,551冊	947冊	4冊	11,124人	42,964冊
尾上図書館	元	1,041冊	153冊		5,425人	16,413冊
	30	1,052冊	160冊		5,619人	16,999冊

【事業費】 事業費総額 7,653千円（うち国・県補助金 0千円）

講師謝礼	56,200円	通信運搬費	210,876円
記念品等	302,112円	使用料	2,029,313円
消耗品費	976,348円	備品購入費	4,027,629円
燃料費	14,339円	負担金	36,000円
支出計		7,652,817円	

## 3. 評価

<b>B</b>	時節ごとにテーマを決めて図書の展示方法を工夫するほか、館内にある「おはなしのへや」では、乳幼児向けに、かわいい動物や乗り物の絵などを壁に貼り付けたりして、楽しい空間を作っている。 今後、利用者の意見を生かしながら、読書に興味を持ち、誰もが立ち寄ることができるような図書館運営に取り組む必要がある。
----------	---



# 事務事業評価表

事業 No. 21

事務事業名	「平川子どもたちが選ぶおすすめ本」事業	担当課	平川市図書館
-------	---------------------	-----	--------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	2 こころ豊かなひとづくり
	個別目標	5 知識と経験があふれる生涯学習の推進
	主要施策	2 生涯教育環境の整備
事業年度	令和元年度	
事業の目的	学校図書活動と平川市図書館が連携し、平川市内の小・中・高等学校に通う児童・生徒が自らの思考や感性に沿った本を推薦し、その本を広く市民に紹介することにより、市全体の読書環境の整備・充実を図ることを目的とする。	

## 2. 実施方法・実績

### 【実施方法】

2年に1度、市内全小学校（9校）、中学校（4校）、高等学校（2校）に協力を依頼し、全児童・生徒を対象とした推薦本や読書に対する項目に係る無記名方式のアンケート調査を実施し、広く市民へ紹介する。

### 【実績】

以下の対象者の調査回答内容に基づき、小学生並びに中・高校生のおすすめ本上位10作品を平賀並びに尾上図書館にて特集展示。また、来館者増に繋げるべく集計結果をランキング形式にして総括した内容を協力いただいた各校に配布並びに市広報誌に掲示し、図書館の利用促進を図ったところ展示を実施した1～3月期の利用者数が前年度より390名増となった。

#### 回答校別内訳

項目	対象者数	回答者数	回答率
小学生	1,398名	1,379名	98.6%
中学生	795名	739名	92.9%
高校生	581名	539名	92.7%
合計	2,774名	2,657名	95.7%

#### おすすめ本購入内訳

冊数：100冊  
 費用：99,582円  
 児童・生徒の貸出冊数  
 H30 5,983冊  
 R元 7,235冊（前年度比+21冊）  
 対象者のうち、図書利用登録者数  
 1,439人

【事業費】事業費総額 100千円（うち国・県補助金0千円）

## 3. 評価

<b>B</b>	アンケートによる「子どもたちが選ぶおすすめ本」の選出や特集展示等により、児童・生徒の図書資料の貸出冊数が増え、図書館の利用向上に繋がった。今後、さらに図書館の利用向上を図るため、工夫した企画に取り組む必要がある。
----------	--

事務事業名	公共ホール音楽活性化	担当課	文化ホール
-------	------------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	2 こころ豊かなひとづくり
	個別目標	6 感性をはぐくむ芸術文化の振興
	主要施策	1 芸術文化活動の振興
事業年度	令和元年度	
事業の目的	現在活躍しているクラシック音楽演奏家を招へいし、コンサートや学校でのアウトリーチ（出向いての演奏交流）を行い、音楽を身近なものとするとともに、感受性や創造性を高めることを目的とする。	

2. 実施方法・実績

<p><b>【実施方法】</b>                  一般財団法人地域創造による助成事業を活用。プレゼンテーションによりアーティストを選定。H28、H29はピアノでの実施、H30は、これまでと異なる分野で且つ吹奏楽部等で馴染みのある金管五重奏での実施、R1も引き続き吹奏楽部等で馴染みのあるブラスバンドとした。                  前年度と同様に市単独経費でアウトリーチを2回分追加して計6回とし、市内学校に案内したところ、応募が多数であったため、過去の実績を踏まえ選考した。</p> <p><b>【実績】</b>                  出演アーティスト: BLACK BOTTOM BRASS BAND (ブラック ボトム ブラス バンド) ブラスバンド                  アウトリーチ先 : 12月11日 松崎小学校1~2年生 40名 尾上中学校吹奏楽部 22名                  12月12日 平賀東小学校6年生 48名 金田小学校金管部 24名                  12月13日 大坊小学校1~4年生 37名 平賀東中学校2年生 50名                  (H29=122名 H30=222名 R1=221名)                  コンサート: 12月14日 文化センターにて 433人 (H29=コンサートなし H30=298人)</p> <p><b>【事業費】</b> 事業費総額 1,842千円                  (うち国・県補助 0千円 その他: 地域創造助成金333千円 入場料319千円)</p>
--

3. 評価

<b>B</b>	<p>プロのアーティストの演奏に間近で触れ合うことで、子ども達に夢や感動を与えることができた。</p> <p>コンサートでは、児童生徒がアーティストとの共演という普段体験できない貴重な経験をすることができた。コンサートの入場者について、回を重ねるごとに増えているので、今後、さらなる拡大を目指し、周知等に努める必要がある。</p>
----------	---

事務事業名	文化財保護	担当課	生涯学習課
-------	-------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	2 こころ豊かなひとづくり
	個別目標	6 感性をはぐくむ芸術文化の振興
	主要施策	2 文化財の保存と継承
事業年度	令和元年度	
事業の目的	文化財保護法、平川市文化財保護条例に基づき、各種指定文化財を保護・保存するため、必要な事業を行うものである。	

2. 実施方法・実績

<p><b>【実施方法】</b></p> <p>(1) 所有者が実施する指定文化財の保存整備事業等に対し、補助支援を行う。</p> <p>(2) 埋蔵文化財包蔵地（遺跡）での開発調整を行い、保護に努める。</p> <p>(3) 文化財パトロールや火災防ぎょ訓練等を行い、文化財保護の意識向上を図る。</p> <p>(4) 無形民俗文化財保存団体に対する補助支援や各種催事への出演斡旋に努める。</p> <p>(5) 文化財標柱・説明板を更新し周知に努める。</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>所有者が実施する「国名勝盛美園保存整備事業」「国名勝清藤氏書院庭園保存整備事業」（国庫補助）及び無形文化財保存団体（市補助）に支援したほか、ひらかわ郷土芸能発表会、文化財標柱の更新、文化財火災防ぎょ訓練、文化財パトロール、埋蔵文化財開発調整（試掘調査）等を行った。</p> <p><b>【事業費】</b> 事業費総額 16,823千円                  （うち国・県補助 11,248千円、市負担 ※2,910千円、所有者負担 2,665千円）                  ※文化財保護費決算3,739千円のうち</p>
--

3. 評価

<b>B</b>	<p>国指定文化財所有者や無形民俗文化財保存団体に対して補助支援を行った。</p> <p>また、新たにひらかわ郷土芸能発表会を開催し、保存団体の出演機会を創出することができ、郷土芸能に触れる機会が少ない人や興味関心の高い人にも、より深く親しみを感じさせることができた。</p> <p>今後、市内に残る貴重な文化財の保護・保存に努め、世代交代による円滑な継承を支援するため、補助事業や現地調査を継続していく必要がある。</p>
----------	--

# 事務事業評価表

事業 No. 24

事務事業名	郷土資料館	担当課	郷土資料館
-------	-------	-----	-------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	2 こころ豊かなひとづくり
	個別目標	6 感性をはぐくむ芸術文化の振興
	主要施策	2 文化財の保存と継承
事業年度	令和元年度	
事業の目的	平川市郷土資料館条例に基づき、郷土の歴史、民俗、芸術、産業及び自然に関する調査、教育、研究、資料の収集、保管及び展示に関する事業を行うものである。	

## 2. 実施方法・実績

### 【実施方法】

- (1) 資料の適切な保管と展示を行う。
- (2) 展示会などの普及啓発事業を行い、郷土に関する学習の機会を提供する。
- (3) 収蔵資料の貸出や講師派遣による学校教育の支援を図る。

### 【実績】

種別	事業名	開催場所	観覧・参加人数
展示会	平賀新也油彩画展	文化センター	自由見学
	知覧特攻平和会館パネル展	文化センター	自由見学
	下川原焼土人形展	文化センター	自由見学
	郷土資料館プレオープン	文化センター	自由見学
見学会	史跡・文化財巡り～南部の中世城館2～	八戸市・岩手県二戸市	66名参加
	ひらかわ歴史散歩2	猿賀地区	17名参加
体験学習	ちょっと昔の暮らし・遊び体験	文化センター	16名参加
	縄文アクセサリーづくり	文化センター	20名参加
伝統文化鑑賞会	津軽のこけし	文化センター	13名参加
	青い目の人形	文化センター	中止

その他、学習機会の支援として、収蔵資料を金田小学校（昔の道具）に貸出したほか、市内小学校へ職員を派遣し授業を行った。文化財を活かした魅力発信事業（弘大連携）で資料展示コーナーおよび収蔵庫の展示替えを行い展示内容の充実を図った。

【事業費】 事業費総額 ※830千円（うち国・県補助 0千円）※文化財保護費決算3,739千円のうち

## 3. 評価

<b>B</b>	郷土の歴史や文化財、芸術などについて見識を深める機会を提供できた。また、弘前大学との連携で資料館の展示替えを実施し、郷土資料の適切な保管と利便性の向上を図った。 今後、新たな企画を通して参加者の拡充を図る必要がある。
----------	---

